

下妻第一高校 「医学部進学支援特別講座② 英語特別演習」

○第1回 令和元年 12月24日(火) 9:00~11:30

○第2回 12月25日(水) 9:00~11:30

【講師】: 古田 実 先生 (富士学院)

◇ 場所:本館西教室 👤 参加生徒:15人 (2年12人 1年3人)

＜参加生徒によるアンケート結果＞

設問1 今回の事業に参加して、医学部（難関大学）の英語に対する理解は進みましたか。

回答数15



● 選択肢1	9人(60.0%)	大いに進んだ
● 選択肢2	6人(40.0%)	進んだ
● 選択肢3	0人(0.0%)	どちらともいえない
● 選択肢4	0人(0.0%)	あまり進まなかった
● 選択肢5	0人(0.0%)	進まなかった
● 未回答	0人(0.0%)	

設問2 今回の事業を受講して、英語の学習に対する意欲は高まりましたか。

回答数15



● 選択肢1	7人(46.7%)	大いに高まった
● 選択肢2	8人(53.3%)	高まった
● 選択肢3	0人(0.0%)	どちらともいえない
● 選択肢4	0人(0.0%)	あまり高まらなかった
● 選択肢5	0人(0.0%)	高まらなかった
● 未回答	0人(0.0%)	

<参加生徒による感想>

- ◇ 実際の入試の問題を使って演習を行ったので、入試にはどんな問題が出るのか具体的に知ることができた。
 - ◇ とても高度な内容だったので、今回学んだ事をしっかり振り返り、これからも難関大学を目指して勉強に励んでいきたい。
 - ◇ ただ暗記をするのではなく、なぜそうなるのかを理解した上で問題にとりくめたので頭に残った。さらに英語の学習を頑張ろうと思えた。
 - ◇ 英語の勉強の仕方の選択肢が増えた。 ◇ 長文の読み方がわかり、良い経験になった。
 - ◇ 英作文は意見を聞きたいのではなく、構成をみているという事実は衝撃でした。他の教科もぜひやっていただきたいです。
 - ◇ 受験のための英語に留まらず、将来に必要不可欠な英語に対する概念を教えていただいて、とても貴重な講演になりました。
 - ◇ すごくわかりやすかった。教師もこのぐらいの技術を身につけてほしいと思う。
 - ◇ 英語は根拠を明確にして解いていくことが大切だとわかった。普段の授業とはちがっておもしろかった。
 - ◇ 長文の読み方など普段では学べないようなことが学べました。文法なども細かいところまで噛み砕いて説明してくれたので、これからはきちんとそうなる理由を考えて文法を勉強したいです。とてもいい勉強になりました。
 - ◇ 参加する前は、医学部の英語の小論文講座だからとても自分にはついていけない内容だと思っていたが、参加してみると先生の教え方がとても分かりやすく、だんだんと楽しくなった。自分が学校の授業で分からなかった内容も今回の講座を通して分かるようになったので、今回の講座に参加して良かったと思う。
- 今回の英語講座は、富士学院から古田 実 先生をお招きして、2日間にわたり実施されました。各種予備校での講義はもちろん、ラジオ英語講座（『私大蛍雪アワー：古田の英文解釈教室』）へのご出演や、明治大学・法政大学でのオープンキャンパス講師のご経験、そして数多くの学習参考書の執筆など、豊富な学識と経験を有する古田先生の講義は実にハイレベルなものでした。参加生徒の感想にもあるとおり、英語（欧米の言語）自体が有する論理性にまで踏み込んで、西欧の思考のレトリックに即して英文を読み解く必要性を説く先生の講義は説得力に満ちており、何より迫力がありません。「演繹法」と「帰納法」を使い分けて英語長文を読む必要性を学ぶなど、生徒にとって知的刺激に満ちた2日間となったはずです。

なお、この講座の受講対象は2年生（理型）でしたが、ハイレベルな講義に触れたいと考える2年文型の生徒、および敢えて挑戦したいという1年生もそれぞれ3名ずつ参加して、しっかりと講義に食らいついていたことも付記しておきます。

「クリスマス」というご多用の時期にも関わらず、古田先生、および富士学院の奥山 洋史 様（東京御茶ノ水校校舎長）には2日間大変お世話になりました。

